

・真内洩太郎……東成瀬小学校のうしろにある洩で、以前は小学校の水泳場であった。ここに真内洩太郎という河童の主がおった。ある時北方きたがた（地名）の徳十郎が馬を洗いに川へいったところ、馬の尾に河童がかまってきた。徳十郎の家の馬洗い桶の下に隠れておったが、そのうち見つかってしまった。河童が放免される時、真人（現増田町）より上流に上ってくることを禁じられた。その後は河童にとられること、つまり「川流れ」かなが（溺死）がなくなったという。